



崇福禅寺



朝日地藏堂



龜山上皇銅像



元寇史料館



日蓮聖人銅像



松原水井戸跡



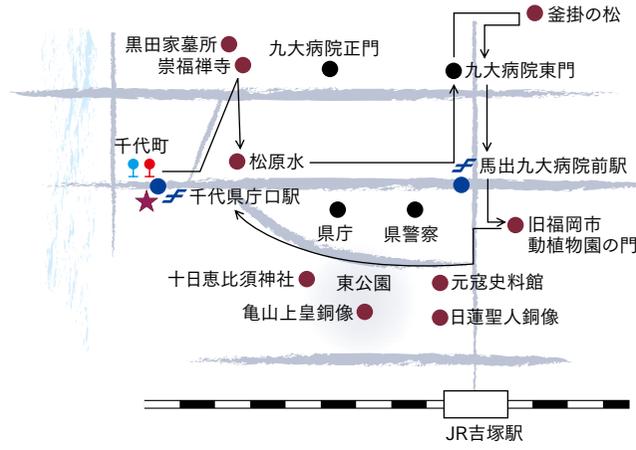
崇福禅寺境内の紅葉



千利休碑



釜掛の松



旧福岡市動植物園の門



旧福岡市動植物園の写真パネル



黒田家の墓所

象の鼻

博多区(県庁界隈)

巻頭マップ⑫

像に込められた平和への願い

博多区の福岡県庁周辺は昔は白砂青松の海岸線でした。随所に残された松林がその名残りを伝えています。今回は福岡市観光ボランティアの富永達也さんにこの界隈を案内していただきました。

千代町バス停を出発し、九大病院方面へ向かい、崇福禅寺へ。本堂を拝観し黒田家墓所を参拝。続いて県庁前緑地の松原水井戸跡へ。松原水は明治時代、福岡市がここに井戸を掘り大八車で飲料水として売っていたもので、当時博多の風物詩でした。ここから東へ進み九大病院東口を入り約三百メートル程行くと左手に「釜掛の松」があります。ここは豊臣秀吉が博多に滞在した折、千利休や神屋宗湛と大茶会を開いた場所。再び通りへ出て、旧福岡市動植物園入口へ。今は馬出小学校の一部ですが、昭和八年に開園した時の門は今も健在です。続いて日蓮聖人像と元寇史料館を見学し、東公園の龜山上皇像を拝観し、十日恵比須神社に参拝して出発点へ。約二時間、歩いた距離は約三キロ程でしたが、貴重な博多の歴史に触れる散歩でした。

次に散策中のスポットを紹介しましょう。横岳山崇福禅寺は一二四〇年、太宰府の横岳に創建され、聖一國師により開堂されました。しかし慶長五年(一六〇〇)、黒田長政公が筑前国主として入国した際、現在地に移転され、以後黒田家の菩提寺となっており、本堂裏には黒田如水公をはじめ歴代藩主の墓があります。山門を入り左手の朝日地藏堂で目にしたのはお百度参りの光景でした。

旧福岡市動植物園の門は、当時世界一といわれたドイツのハーゲンベルクの動物園の門を参考にしたといわれ、ゾウの鼻が何とも微笑ましく、見る人の心を優しくしてくれます。ここは昭和十九年閉園となり、園内の池にあった六角堂は現在、大濠公園の浮見堂として市民に親しまれています。

元寇史料館には蒙古軍の皮鎧や鎧兜等、元寇に関する一級品の史料が展示されています。矢田一嘯画伯の絵の迫力に圧倒されました。

龜山上皇像は平和を願い建設に奔走した湯地丈雄氏の存在を忘れることはできません。像は彫刻界の巨匠・山崎朝雲作で、明治三十七年(一九〇四)完成しました。(高さは台座込みで二一・五メートル)

- アクセス
 - 地下鉄「千代県庁口」駅
 - 西鉄バス「千代町」
 - JRバス「千代町」
- コース散策:約2時間



ボランティアガイドの富永達也さん